

地域の困りごと、お話しください
～出張所が変わります～

津市長 前葉 泰幸



市民の皆さまと対話しながら一緒に地域の課題を考える地域懇談会。37の地域でそれぞれ半年に1度ずつ開催することを公約に掲げ、平成27年10月から始めた話し合いの場は、現在4巡目を迎えています。

「校庭の水はけが悪くて困っている」「道路の穴を補修してほしい」「通学路が狭くて危険だ」「地域の行事を支援してほしい」「地域で活動を始めたいが立ち上げ方がわからない」

懇談会でうかがう生のお声は多岐にわたりますが、いずれも地域の実情を住民目線で切り取るものばかりです。市政に反映させるために、取り上げられた課題は、半年後に同じ地区で開催されるときまでに何らかの進展が図れるように心がけています。その一方で、これまでになんらかの公的なフォローがあれば解決できていたであろうと思われる事例も少なくありません。

津市には皆さまのお住いの近くに28の出張所があり、住民票の発行などの窓口サービスを提供するほか、市民相談や要望の受付、自治会との連絡調整などの業務も担っています。そこで、皆さま

の身近なところで困りごとや地域活動のご相談などに、より丁寧に対応できるよう、今年度から体制を変更することにしました。

津駅前のアストプラザと久居駅前のポルタひさいの2出張所は、夜間や休日に窓口を開いて利便性の向上を図るものですが、それ以外の26の出張所は昭和30年頃の「昭和の大合併」以前の旧町村などに置かれたもので、「平成の大合併」以降も引き続き地域住民の行政窓口となっています。

そこで、今年度より出張所長に定年退職後の60歳代前半の再任用職員を充てる人事を実行しました。ごく最近まで部次長や課長、総合支所長といった管理職を務め責任のある仕事をしてきたベテラン職員に、出張所長として地域にしっかりと向き合うという使命を付与したのです。

今後、出張所長は、市役所の見解の代弁者としての立場ではなく、地域住民の側に立つ存在として地域の課題解決に向け、共に考え行動します。役所のルールやシステムを熟知し、どの部局でどのような意思決定がなされるのかを相当程度承知している人材です。庁内に幅広い人脈を持つのも強みとなり、きっと勘所を押さえた動きをすることでしょ。

これら再任用職員を住所地になるべく近く土地勘のある出張所に配属することで、住民と職員とが互いに顔がわかり、気軽に相談できる体制をとりました。問題解決に向けてのご案内役として、出張所長が地域の皆さまにとって頼もしい存在となれば幸いです。どうぞご期待ください。

「TV版市長コラム」では、前葉市長がこのテーマについて語ります



津市長コラム |

検索

市長の活動日記から

▼津市家庭医療クリニック開設式典
…4月2日

地域医療の拠点として美杉町奥津に「津市家庭医療クリニック」を開設。専任医師として県立一志病院から家庭医療が専門の鶴田真三医師をお迎えし、訪問診療も行うなど、全ての年代の健康問題に幅広く対応します。

▼セントヨゼフ女子学園との連携協力
協定調印式…4月12日

平成32年度から小学校に英語科が導入されます。津市は30年度からの先行実施に向け、英語教育力向上の重要なパートナーとして英語教育の先進校「セントヨゼフ女子学園」と連携。積極的に生徒、教員の交流を図ります。

▼第2回地域経済応援ポイント導入等による
消費拡大策検討会(総務省)…4月14日

マイナンバーカードを活用し住民サービスや地域活性化事業に取り組む7市区町の首長が活用検討例を発表。津市は、交通系カードとの連携事業「津市高齢者外出支援事業」について、高市早苗総務大臣に報告しました。

「市長活動日記」は津市ホームページでご覧になれます

津市長活動日記 |

検索